校友時報

PTA号

第53号
発行所
秋田縣立能代高等学校新聞部
電話254番
編集人 佐藤 満
印刷所 大東堂印刷所

新年の辞

PTA会長　相澤治一郎

（相沢氏）

明けましてお目出とう御ございます。皆々様の御健康とが肝要でありまして、人格者を社会に出すことが最と御幸福を心からお祈り申も大事なことと思われます上げます。学問も優秀、人格も立派で年々、年新まる毎に世の中の事情も新まり、教育部面に於ても多少に拘わらず変る事と思われますが、教育のは国民の基本となる何よりも大事なことでありますから、教育家は勿論ですが、一般国民としても充分関心を持つべきだと存じます。学校は学問する所ですから学事を勉強して上級学校への入学率を高めることは結構なことであり、それにより学校の評判もよくなり入大に頑張らなければならない。ことわざに「好きこのものの上手なれ」と云うのがあるが、本当に興味が湧いて面白いのはいつの間に

論説

新春に寄す

一九五五年、本年は我が能代高校が開校以来三十周年を数える。一年、一年と学力その他の多くの伝統とがふり積つて今日の能代高校を作り、又在校生七百五十余名が先輩の意志をついで、運動にあるいは学力に大いに頑張らなければならない。

学志願者も多くなることですから、学校としては其の事に努力すべきはいうまでもないことですが、それ以上に大切なことは、教育により立派な人物をつくることは、結構なことであり、それによる学校教育は余りに科学的の事情を新まり、教育部面仮りに学問は優秀でありましても社会に出てから信用の事は国民の基本となる何よりも大事なことでありますから、教育家は勿論ですが、一般国民としても充分関心を持つべきだと存じます。学校は学問する所ですから学事を勉強して上級学校への入学率を高めることは結私の見るところでは、現今の学校教育は余りに科学的三〇年とは云うが新しい部類に入る。新しい為か本校の事情も新まり、教育部面仮りに学問は優秀でありましても社会に出てから信用の事は国民の基本となる何よりも大事なことでありますから、教育家は勿論ですが、一般国民としても充分関心を持つべきだと存じます。高等学校は普通教育をする学校ですから人格の養成を第一とすべきは哲学的、宗教的教育が最も必要なことと思うのです。

常に純粋な氣持で

※…本年は特に本校創立三〇周年を迎えるのでありま

問新春校長訪

が新春の抱負は校長…元旦はいつも由な発展を望み得ると云え人に清々しい気をようが、本校は着実な足与える。それで「一年の計は元旦に有り」とかでプラ生は学生たれ」と云いたい常に純粋なものを求めて行るが、本年こそは行事とか何か考えていこと云う心掛は良いものである。

※…三〇周年に対する記念行事とか何か考えていることと云うことだ。能代は非常に地理的に恵まれている。関係方面で乗気で居られるのでこれは大変有望だと云つて良い。図書館

※…生徒会活動について。校長…非常に活発だと喜んでいる。前期森田君はよくやつてくれたと思う。後期の奈良君は未認識だが大いに期待する。

※…予餞会に望むこと。校長…多忙で予餞会には二三度より出席したことがないが、卒業生には忘れられない物であると思う。それだけに大いに和やかな内に生徒間は素より先生達と交歓と云う風にやつて貰いた

圖書部から

私は昨年の図書室利用者に対して、もつと協力して貰いたかつたと云いたい。図書の紛失、未返却図書の多いこと、各自の鞄や参考書類の持ち込み禁止、その他これらの事柄は、皆各家の人に非常な経済的な犠牲を払わしてまでやる必要があるでしょうか。而も現今の様に大学を出ても就職に困る様な時代にはどんなものでしょうか。私は寧ろ大学に進むより家業のある人は家業を手伝うとか、又て申訳ありませんが、多少会社でも商店でもなるべく早く若いうちに実際の仕事につく方が生活上はやみも最後に能代高校の発展を念ています。図書館の開拓がまだ本格的になつていないと思われるが、いずれにせよ諸君の努力次第で完全を期したい。就職は

※次回委員会では、ブラスバンド設置促進委で括めたブラスバンドの件と、図書選択委員会則の件について検討する旨委員長より予告があつた。

辯論大会26日に開催

先学期催される事になつておつた第二回校内辯論大会は、都合に依り三学期に行うことになつたが、二十六日(水)、一年生辯士四名、二年生七名、三年生三名計一五名余の参加のもとに開かれる事になつた。

＝PTAと生徒会の資金で＝

プラスバンドのアンケート結果

今程、生徒委員会のプラスバンド設置委員会の手に依つて、全校生徒を対象に行つた。これに関するアンケートを

一、のプラスバンド購入に就いて賛成か否か。

の不賛成も有つたが80％の賛意有り。

二、の資金収入方法は、ロ

演芸時間は一年生…一時間、二年生は…一時間半、残りは総合の時間として割当する。

各係のリーダーは次の通り

進行係…島田拓弥、能谷倫子

茶菓係…佐藤三郎

舞台装置係…伊勢富美雄

整理係…大森副委員長

バックル贈呈係…奈良委員長

委員会報告

（一月十二日、十七日―十八番）

▼予餞会の件について

開催日時―二月十八日午後一時～四時迄三時間

一、内容…本校に関するもの。昭和二十九年四月一日より三〇年二月十九日迄の間のニュースとする。

一、重要度の順位不要

一、多数同意五項目的中者中より抽選により当選者を決定します。

一、当選者五名には書籍券を進呈します。

＝能高新聞部＝

佐藤君（本校）副部長に當選

＝高新連に参加＝

第六回の秋田県高校新聞連盟定例総会は十二月十九日秋田聖霊女子高校に於て行なわれ、役員改選で本校新聞部副部長の佐藤満君が副部長に当選、一年の石田洋三君が理事に推選された。

議題は　一、理事会に関する規約改正事務局簡所の成文化　一、支部の運営について　一、本連盟の今後の運営方針　一、役員改選　一、自由提案　その後各校近況発表をした他、各校持ち合せの新聞批評に移り盛況裡のうちに終了した。

新役員は

会長　武藤隆（秋田高）

副会長　佐藤満（能代高）

〃　伊藤克男（秋市高）

三角点

▼始つたと思つた三学期も早や二週間目を過ごそうとしている。三年生に取つては高校生活最後の学期である。▼又二年生は、来たるべき最高学年に良き指導者になる為に、其の賛成に勁めねばならぬ時である。誰しも新年ともなれば、「今年こそは！」と色々な野心を持つ。▼諸君の昨年の抱負は何％遂行出来得たであろうか？▼筆者はこの新しい年にあたり、二度と繰り返す迄の間のニュースとする事の出来ないこの尊い人生の為にも日記を書くことを強いて勧告したい。▼我々は「書く！」ということを鬼角憚なになり勝ちである。▼併して我々は記録すち事によつて、言語のメカニズムを、表現力を　そして自己の思索の跡を、又我々の一番大事な自己人間像を知る素材ともなり得る。▼筆者はこれ迄能高生活二年になるが、今日迄一番感得したことは、本校生徒は自覚精神に欠けているという事である。▼体操場を出る時にしろ、図書の紛失にしろ皆それに依る。▼県北の最高学府と自惚る能高生徒がこんな態では……。▼我々は精神修行をしなくてはならぬ。といつても我々は、自分がそうする事について、自分を生ずる他人に与える害を感得しなければならぬ所謂敏感にならねばならぬ。▼我々はその為に自己反省が必要である。自分のなしたことが何時も正しいとは限らない。日記はその為の手段ともなりうる。即ち日記は自己人間像完成の一端である。